

賃貸借仕様書

1 品目および設置場所

品 目	設置場所（住所等）
二酸化硫黄・浮遊粒子状物質自動測定記録計	上新城測定局 （上新城五十丁字大村屋敷22番地 上新城小学校敷地内） 将軍野測定局 （土崎港北二丁目18番18号 土崎駅東第三街区公園地内）

※品目は、分析部、記録計、収納ラック、付属品一式等のセットとする。

2 賃貸借期間 平成26年5月1日から平成31年4月30日まで
（60か月）

3 設置期限 平成26年4月30日

4 機器仕様 別紙「機器仕様書」のとおり

5 設置仕様 別紙「設置仕様書」によるほか、設置期限までに測定可能状態までの調整を行うこと。また、並行運転後、既存の機器を廃棄すること。廃棄の時期については、市と協議すること。

6 提出書類等

- (1) 納入仕様書
- (2) 取扱説明書2部
- (3) 交換部品一覧（部品番号付き）
- (4) 消耗部品一覧（部品番号付き）
- (5) 設置時の試験成績書
- (6) 機器設置整備前後の状況を示す写真

7 納入条件

- (1) 設置に係る費用は、納入者の負担とすること。
- (2) 納入者は、秋田市内に機器等の保守管理のできる技術者を有していること。
- (3) 納入者は、機器の使用法および点検方法を熟知し、消耗品等の定期交換部品の交換ができること。
- (4) 納入者は、秋田市内に事業所を有し、不具合が発生した場合は迅速に対応すること。
- (5) 賃貸借に当たっては、秋田市財務規則に定める事項を遵守すること。
- (6) 賃貸借料の請求は、該当月分の賃貸借が完了した後に請求すること。
- (7) 賃貸借期間中は、納入者の費用により動産総合保険に加入すること。
- (8) 賃貸借期間満了後は、無償で秋田市に所有権移転を行うこと。

機 器 仕 様 書

1 機器名 二酸化硫黄・浮遊粒子状物質自動測定記録計

(1) 分析部仕様

ア 硫黄酸化物自動測定記録計分析部

測 定 対 象 大気中の二酸化硫黄 (SO_2)

測 定 方 法 紫外線蛍光法

測 定 範 囲 瞬時値および1時間平均値

0～0.05/0.1/0.2/0.5/1.0ppmの5レンジ程度の自動・手動切換式

所 用 電 源 AC100V 50Hz

自動校正機能 校正ガス発生器で自動校正ができること。

表 示 測定値、出力レンジ、動作制御情報、アラーム

伝 送 出 力 DC0～1V (瞬時値および1時間平均値)

出 力 本市テレメータ子局装置 (グリーンブルー(株)REC-1₂₁) に接続してデータ送受信ができること。

接 点 出 力 レンジ信号、アラーム信号、調整中信号、校正中信号等

接 点 入 力 テレメータ故障、外部リセット、自動校正スタート等

イ 浮遊粒子状物質自動測定記録計分析部

測 定 対 象 大気中の浮遊粒子状物質 (SPM)

測 定 原 理 ベータ線吸収法

測 定 範 囲 0～1/2/5 mg/m^3 の3レンジ程度、自動切換

所 用 電 源 AC100V 50Hz

校 正 方 法 等価膜による静的校正

表 示 測定値、出力レンジ、動作制御情報、アラーム、スパン係数、 β 線源使用可能指示値

伝 送 出 力 DC0～1V (1時間平均値)

出 力 本市テレメータ子局装置 (グリーンブルー(株)REC-1₂₁) に接続してデータ送受信ができること。

接 点 出 力 レンジ信号、アラーム信号、調整中信号等

接 点 入 力 テレメータ故障、外部リセット等

(2) 記録部仕様

記 録 計 ドットプリント式で、瞬時値、平均値が記録できること。

記 録 紙 折りたたみ式帯状記録紙であること。

(3) 校正ガス発生器仕様 (調圧器付属)

希 釈 率 1/100または1/1000

希 釈 精 度 表示希釈率に対して $\pm 2\%$ 以内

(4) 付属品等

標準付属品一式 (サンプリング管、標準ガスボンベ、レギュレータ、ボンベ架台等)

予備品等一式 (予備品、1年点検時交換部品等)

(5) その他の事項

ア JIS B 7952、JIS B 7954および「環境大気常時監視マニュアル第6版」に適合していること。

イ 収納ラックに分析部、記録計、校正ガス発生器を収納して設置すること。

設 置 仕 様 書

- 1 機器の設置に関しては、以下の定める事項のとおりとする。ただし、該当しない項目はこの限りでない。
- 2 調整確認事項
 - (1) 設置および配管・配線関係
 - ア 付属品・納入品リストの確認
 - イ 装置内プリント基板・コネクタの確認
 - ウ サンプリングチューブ配管の確認
 - エ 電源電圧の確認
 - (2) 記録部関係
 - ア ドライブケーブルの点検
 - イ スケール位置の確認
 - ウ 機械的ゼロ点の確認
 - エ 打点タイミング・ゲインの確認
 - オ ゼロ・スパンの確認
 - カ 直線性の確認
 - キ 記録紙送り速度の確認
 - ク 測定値記録状態の確認
 - (3) 分析部関係
 - ア 試料大気の漏れ確認
 - イ 試料大気流量の確認
 - ウ 空試験の実施
 - (4) 操作部関係
 - ア バックアップバッテリー電圧の確認
 - イ 自動校正周期の設定（時計の設定含む）
 - ウ 自動レンジ切替動作の確認
 - エ 測定レンジの設定
 - オ スパン校正の実施
 - カ 各キーによるプログラム動作の確認
 - (5) 総合性能・動作確認
 - ア 伝送出力の特性試験
 - イ 外部入出力信号の確認
 - ウ テレメータ出力信号の確認
(測定値信号、計器調整信号、指示値異常信号、測定レンジ信号)
- 3 調整確認事項の制限

調整確認事項については、設置期限日の午前中までに終了すること。